





ねこすけは かいねこになって さんねん。 あめにぬれて ないていたところを ひろわれたのです。 ねこすけのために つくってくれた ねこごやで くらしています。



しかし ちかごろは ノラねこが ねこすけの おうちを ねらって やってくるので おちおち ねむれやしません。



あるばん・・・

「おい! どけ。ここは わしのうちだ。 どかないと かみつくぞ!!」 みると いまにも たおれそうな としおいたネコが たっています。 「このいえは ぼくの おうちだよ。 ほくのために つくってくれたんだ。」 「ぼくのため? しらん!! いいから どけ!!」 ねこすけは どうしようもなく ウロウロしていると・・・



としおいたネコは、なにもいわすに ねこごやへ はいっていきました。 そして たいようが のぼると だまって さっていきました。



そのばんも・・・ 「おい!! ここは わしのうちだと いっているだろ! はやくどけ!!! みると あの としおいたネコです。 ひにひに よわっていく としおいたネコは まいばん ねこごやに やってきました。 でも あるひを さかいに としおいたネコは パタリと となくなりました。 ねこすけはほっとしました。 でもわからないことがありました。 「ぼくも ノラねこ だったはず・・・」 ノラねこのきもちが わからないのです。



おだやかな よるも つかのま・・・ 「ちょっと あんた!! ここを どきなさいよ。 どかないと ひっかくわよ!」 ねこすけが かおを だすと けわしいかおの おかあさんネコと ほそく やつれた ちびネコが たっています。 ねこすけは しかたがなく ノソノソと でてくると・・・



おやこは だまって ねこごやへ はいっていきました。 ねこすけが そっと のぞくと おやこは まるまって スヤスヤ・・・ ねこすけは なんだか わからないけれど ほっとしました。 そして おやこが げんきになるのを まちました。



あるひ ねこすけが ひなたぼっこをして まどろんでいると そこへ おかあさんねこが ちかよってきました。 「ちびが しんでしまうんじゃないかと いてもたってもいられなくて・・・ わるかったわ。」 むねを なでおろした おかあさんネコは かぜが そよいで このはが おどるおとを かんじながら これからのことを かんがえました。



ちびネコは はじめてみる バッタや ちょうちょに きょうみしんしん。 こうきしんに あふれた めは きらめいて なにをみても おおはしゃぎ!

「みてみてー!」

ちびネコが バッタを つかまえました。 「バッタは のどに ひっかかるから きをつけなさい。」 ちびネコは だまっています。

ねこすけが

「すごいぞ!! ちび。

バッタを つかまえるなんて たいしたもんだ! つぎはネズミだ。」 「うん!!」

ちびネコは にっこり じまんげです。

sample

```
「ねえ きいて きいて!!
あそこの かわに おさかなが およいでいるんだよ。
ちびネコが いきを きらして かけてきました。
「ちび!! あぶないじゃない。 ひとりで いっては ダメよ。|
ちびネコは「だまってしまいました。
ねこすけが それをみて
[そりゃあ すごい!! ぼくと いっしょに みにいこう。]
チビねこは おどるような あしどりで
ねこすけと かわへ むかいました。
[さあ つかまえろ! ちびと ぼくとで はさみうちだ。]
```

sample

ちびネコが ちいさな くちに おさかなを くわえて もどると 「まあ すごい! なんて おいしそう。」 「うん!!」 ちびネコは おかあさんの からだに すりよりました。



「わたしたち ノラねこは まいにち ねばしょさがしに エサのうばいあい! けんかして ヘトヘトなの。 きがきじゃないわ。 でも ここでは きを はらすに いられたわ。 ここは とてもいいところね。 ちびは ここで くらしたほうが いいのかしら。」 「ちびは なんでもできる たのもしいネコだ。 ちびに きいたらいいよ。」



よくあさ おかあさんネコと ちびネコは また ノラねこの せかいへ もどっていきました。 だけど なんだか こころづよく まわりが あたたかく みえるのでした。 ねこすけはというと すこしだけ ノラねこの きもちが わかったきがしました。 そして なぜだか きょうも どこかの ノラねこが やってくるのを まっています。



いしたえほん No.0032 ねこごやのものがたり 2018年3月17日 初版発行

いのちを まちるのに ひっしだった ノラねこ おやこが いのちを いきる くちしを けいけん。 あんしんふびを まもる? こうきしんを いきる? まったく ちがう みち。 どっちをたちぶ?

文·絵 小池三千世

印刷·製本·発行 石田製本株式会社 〒063-0836 北海道札幌市西区発寒16条14丁目3-31 TEL 011-676-4520 http://t-bb.co.jo/

©2018 Michiyo Koike / Ishida Bookbinding

S-本都の無所能裂(コピー、スキャン、デジタル化剤)並びに無断複製物の譲渡及び配信は、 着作権法上での例外を除き掛けられています。 また、本着を代行業者などの第三者に依頼して複製する行為は、たとえ個人や家庭内での 利用であっても一切認められておりません。 第二・あ工は私切り着えいたしますので、弊社までご達勝ください。

ISBN978-4-909377-31-9

石田製本の直販サイト「いしだえほん」にて、 シリアスな物からシュールな物まで、楽しい絵本が続々発売中です! http://p-books.jp/ehon/



ISBN978-4-909377-31-9 C8771¥1200E 定価:本体1,200円+税



